

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成26年度採択分）
「日本国際政治学会による英文機関誌の国際発信の強化」
（課題番号：262024）

学術団体名：一般法人 日本国際政治学会

学術刊行物の名称：International Relations of the Asia-Pacific（IRAP）

事業期間：平成26年度～平成30年度

1 取組の概要

・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

本申請は、オックスフォード大学出版局（OUP）より International Relations of the Asia-Pacific（IRAP）の国際的な発信力をさらに強め、既に IRAP が得ている国際的評価・認知を一段と高めることをめざすためのものである。

・応募時に設定した取組の目標・評価指標

IRAP 誌の広告、宣伝を行うことで、年間の投稿論文数を増大させるとともに、電子化と一部オープンアクセス化に取り組むことにより、月平均ダウンロード数の増大を目指す。IRAP 誌の効果的な広告・宣伝を行うことで、full-text PDF の月平均ダウンロード数を、3年目の28年には2,900件、5年後には3,500件とすることが目標となる。

2 目標の達成状況

・現在までの目標の達成状況

成果として、IRAP への投稿論文は平成26年度の約100件に対して27年度には約110件と、順調に増大している。また IRAP の講読に関して、月平均ダウンロード数が、HTML 版・PDF 版の双方で平成26年度の3132件から27年度には3408件に達した。なお、平成27年度のインパクト・ファクターは0.758であり、これは国際関係論分野の主要な英文学術雑誌ランキングにおいて85誌中の40位であった。従って、投稿数、並びにダウンロード数については、おおむね当初の目標としていた水準を実現する方向に改善している。直近での6ヶ月のPDFのダウンロード数は28,056件で、月平均では4676件にのぼる。また、投稿数も直近の6ヶ月で55本であり、年間ベースでは110本であり、これもおおむね目標を達する成果となっている。

・今後の計画

平成28年度実施の60周年記念大会の国際シンポジウムを核とした IRAP の別冊出版については、すでに編集委員会サイドで方針確認をしており、平成29年度の刊行に向けて準備が進められる予定である。また、本学会ができるだけ関与する形で刊行で期す成果を上げることを目的とした、英語部会等の企画を継続的に実施する方向で、本科研でねらいとしている事業を継続的に実施できる基盤を平成30年度までに大向け固める方向で事業を推進する予定である。